

2021年大学入試の変更点及び本校の対応について

茨城県立牛久栄進高等学校

1 大学入試の変更点

- (1) 現行の「大学入試センター試験」は、2019年度（2020年1月実施）を最後に廃止され、その代わりに2020年度からは、「大学入学共通テスト」（2021年1月実施）が実施されます。大学入学共通テストでは、「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力」を評価する方向で検討が進められています。
- (2) 大学入学共通テストでは、国語、数学において従前のマークシート式問題に加え、**記述式問題が出題**されます。
- (3) 英語では4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を評価するために、民間の資格・検定試験である**英検やGTEC（英語の検定試験の1つ）**などが活用されます。

2 本校における「大学入学共通テスト」に向けての対応

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践
 - ア 年2回の授業研究週間を設け、教員全員が授業公開を実施し、教科会で協議することを通して授業改善を行っています。
 - イ 全ての教科で「主体的・対話的で深い学び」を目指し、「思考力・判断力・表現力」を高める授業を目指しています。
 - ウ 定期テスト等では、記述式の“考えさせる”問題を多く出題し、「大学入学共通テスト」はもちろん、個別試験に対応できる“記述力”を養っています。
 - エ 教員が、教科の指導法に関する校外の研修会に参加することで、授業力の向上に努めています。
- (2) 英語の「聞く」「話す」の技能への対応
 - ア 授業では、ペア学習やグループ学習、英語によるプレゼンテーションなどを通して、「聞く力」、「話す力」を育てています。
 - イ ALTを活用して、スピーキングテストを実施しています。
 - ウ 定期考査において、全学年でリスニング問題を出題しています。
 - エ GTECを生徒全員が受験しています。
 - オ 英検の受験を推奨し、個別指導を丁寧に行っています。また、本校を会場として受験機会を設けています。

3 生徒の進路希望実現をめざすサポート体制

- (1) “授業第一主義”を掲げ、55分授業により基礎から応用まで丁寧に指導します。
- (2) “栄進ゼミ”（希望者課外）により発展的な内容を補充します。
- (3) “e-Top推進室”が難関大学への意識啓発を行います。
※ e-Top推進室とは、難関大を目指す生徒たちの進路実現を支援するプロジェクトチームの名称で、Eishin Triumph Obtaining Project の頭文字をとったもの